

令和6年度 沖縄県看護実務者研修（高齢者権利擁護等推進事業）プログラム

目的: 沖縄県看護実務者研修は、介護施設等の看護職員を対象として、講義・演習を通じて、高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援するための実践的、専門的手法を修得し、地域における高齢者の権利擁護のために必要な援助等を実践できる人材を養成することを目的とする

対象: 介護施設等の現場において、実際に保健医療サービス及び福祉サービスを提供している看護職員

月日: 令和6年10月25日(金)・26日(土): 2日間

会場: 沖縄県看護研修センター 第3研修室 定員は40人

方法: 対面、オンライン

10月25日(金)

時間	研修内容	講師
9:20～9:30	オリエンテーション	協会研修担当者
9:30～10:30 (60分)	【講義1】 介護保険制度と看護職の役割① ○高齢者を取り巻く社会環境の理解 ○介護保険制度等の基本的理解 ○地域包括ケアシステムにおける介護保険施設の役割	沖縄県保健医療介護部 高齢者介護課 指導班 主任技師 伊波 百合恵
10:30～10:40	休憩(10分)	
10:40～12:10 (90分)	【講義2】 介護保険制度と看護職の役割② ○尊厳の保持と自立(自律)支援(高齢者虐待の防止及び身体的拘束等の適正化、高齢者の養護者に対する支援等を含む) ○養介護施設従事者等による高齢者虐待防止及び身体的拘束等の適正化のための取り組み(虐待発生時の要因分析・再発防止、疾患理解のための研修、 <u>高齢者虐待防止措置及び身体的拘束等の適正化に関する体制整備等</u>) ○介護保険施設等における看護職員の役割(運営基準に規定される基本方針並びに褥瘡予防対策、感染症及び食中毒対策を含む) ○「生活の場」で提供される看護の特徴 ○組織の理解と多職種による支援(施設サービス計画及びサービス担当者会議を含む)	社会福祉法人まつみ福祉会 介護老人保健施設桜山荘 看護課長 久場 英
12:10～13:00	昼食	
13:00～14:30 (90分)	【講義3】 高齢者の心身の理解 ○高齢者の心身の特徴とよく見られる疾患 ○高齢者のフィジカルアセスメント ○高齢者ケアにおける倫理	社会医療法人葦の会 オリブ山病院 日本脳神経外科学会認定専門医 宮城 航一

14:30～14:40	休 憩(10分)	
14:40～16:40 (120分)	【講義 4-①】 認知症高齢者の理解と看護 ○認知症の医学的理解(心理的理解を含む) ○認知症の人の生活のアセスメントと支援 ○認知症の人の家族の理解と支援 ○意思決定支援と権利擁護	特定医療法人アガペ会 北中城若松病院 認知症トータルサポート室 認知症看護認定看護師 北島 奈々

10月26日(土)

時 間	研 修 内 容	講 師
9:30～11:00 (90分)	【講義 5-①】 利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護① ー感染管理対策 ○感染管理体制の整備(指針の策定、報告制度、感染対策委員会、職員研修等) ○平常時の衛生管理 ○感染発生時の対応	社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 感染管理認定看護師 與那嶺 教子
11:00～11:10	休 憩(10分)	
11:10～12:40 (90分)	【講義 5-②】 利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護② ー介護事故防止 ○介護事故防止の理念と考え方 ○介護事故防止のための体制整備(指針の策定、報告制度、事故防止検討委員会、職員研修、損害賠償等) ○介護事故防止のためのケア ○介護事故発生時の対応	医療法人おもと会 統括本部 安全感染管理室 室長 加治木 選江
12:40～13:30	昼 食	
13:30～16:30 (180分)	【講義 5-③】 利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護③ ー急変時の対応 ○高齢者の急変時の特徴と観察の視点 ○急変時の対応(介護職員等との連携を含む)と医療機関の連携 【講義 5-④】 利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護④ ー看取りケアの推進 ○高齢者の看取り期の特徴と状態像 ○多職種協働による看取りケア ○看取り期における家族支援(意向の尊厳と看取りに関する理解の促進、心理的支援を含む)	沖縄県立中部病院 老人看護専門看護師 東嵩西 寿枝
16:30	研修レビュー 修了式	協会研修担当者